

選挙について

若者こそ選挙へ行きましょう

今年選挙の年です。衆議院議員の任期（4年）満了によるもので、この選挙で全465人の衆議院議員が決まります。

雇用・労働・税制・社会保障など、私たちの生活は国や地域社会の政策によって大きく影響を受けており、労働者の生活向上のためにも私たちは政治活動に取り組む必要があります。

ところで日本は世界的に見て若者の投票率が大変に低い国です（OECD加盟国中ワースト2位）。これでは当然、政党も年配者重視の政策ばかり打ち出すことになり、コロナで一番割を食っているのがどの世代か、皆さんも実感していると思いますが、年配者の待遇がよく見えるのは年配者が行動してきたから、若者の待遇が改善しないのは若者が行動しないことが一番の要因です。

「投票したいと思う候補者がいない、政党がない」と思う方、特に若い方は、得意のインターネット候補者や政党の政策・発言・実績を調べ、「誰が一番マシか」自分の目で見極めてみましょう。

それでも「政治はよくわからない」という方のために北欧での選挙の考え方を紹介します。

投票先が選べない方は

「あらゆる選挙についてメディアは事前予想を行う。メディアの事前予想の通りで良ければ3つの方法がある。1つ目は投票に行つてその通りに投票する。2つ目は白票を投じる。3つ目は棄権する。どれを選んでみてもすべて事前予想と同じ結果となる。事前予想に反対なら方法は1つしかない。投票に行つて別の名前を書くしかない。これが選挙というものだ」

つまり、**選挙に行かない、あるいは白票を投じるという行為は、与党（多数派）を応援し、票を投じているのと変わらないということ**です。もちろん今の政治に満足し、与党を応援している場合はそれでいいのですが、「関係ないから行かない」「投票してないから関係ない」という方は、投票に行つていない人と同様に、その行為が選挙結果に大いに関係しており、今の政治を後押ししていると感じるべきです。

選挙すら行かず文句だけ言う。これだけはやめましょう。**無投票は多数派支持**です。子供たちを含む次世代にとってもあまりにも失礼で無責任な態度ではないでしょうか？

「最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく、善人の沈黙である。沈黙は、暴力の陰に隠れた同罪者である。」マーティン・ルーサー・キング・ジュニア

まずは自治体から送られるハガキで投票方法を確認しましょう。



若い力

第152号

2021年10月1日

発 責 国労九州本部
住 所 博多区博多駅東3丁目9
番 3号ニッコウハイツ 1003号